



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、
厚くお礼申し上げます。

ここに当社第94期の事業の
概況と決算についてご報告申し
あげます。

株主の皆様におかれましては、
今後とも一層のご支援、ご鞭撻
を賜りますようお願い申しあげ
ます。

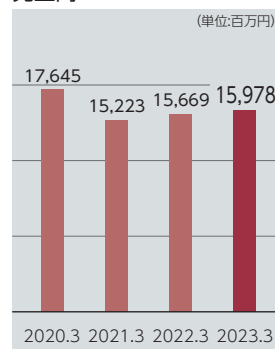
2023年 6月



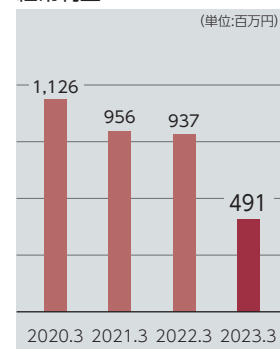
代表取締役社長 中村 達郎

財務ハイライト

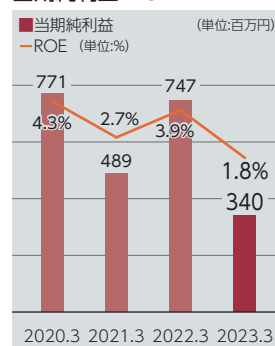
売上高



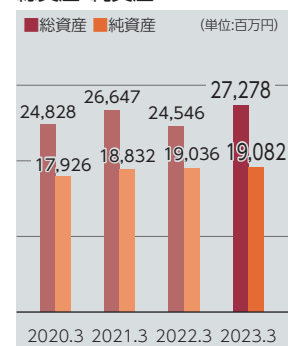
経常利益



当期純利益・ROE*



総資産・純資産



*ROE: Return On Equityの略。自己資本利益率ともいい、当期純利益を、自己資本で除したものの。

第94期 株 主 通 信

2022年4月1日から2023年3月31日まで



高田機工株式會社

証券コード: 5923

当事業年度の事業概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、エネルギー価格、原材料価格の高騰による物価高や、内外金利差拡大による円安の進行など、先行きは不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、橋梁事業では当事業年度の道路関係予算が前事業年度比横ばいであったこともあり、新設鋼橋の発注高は微増にとどまりました。しかし、保全工事の発注高は高速道路会社の発注高の減少により、全体としては前事業年度比で若干減少する結果となりました。鉄構事業におきまして、首都圏を中心とした再開発事業や、物流倉庫・製造業の工場建設等、大型案件の計画は進んでいるものの、鋼材他諸資材やエネルギー価格の高騰の影響もあり、当事業年度の鉄骨需要は端境期となり、大型物件の件数は減少いたしました。

このような厳しい状況下ではありましたが、当社は受注の確保を最重要課題として取り組み、橋梁事業では、技術提案力の強化と積算精度の向上だけでなく、地元や各地域への貢献も視野に入れ、客先に寄り添った営業活動を進めた結果、前事業年度を大きく上回る受注高を確保することができました。鉄構事業においても、目標案件の確実な受注を積み上げることで、ここ数年の低迷から抜け出す一歩を踏み出せました。

損益面につきましては、年度後半に橋梁事業・鉄構事業ともに進捗が停滞し、採算の悪化した工事が発生したことで、売上高は業績予想に届かず、営業利益・経常利益も業績予想を下回る結果となりました。また、収益性の改善に取り組んでいる鉄構事業の回復が遅れており、前期に引き続き特別損失（固定資産の減損損失）を計上したことも影響し、当期純利益も業績予想を下回る結果となりました。

売上高	159億78百万円 前期比 2.0%増 橋梁事業 133億10百万円 9.4%増 鉄構事業 26億68百万円 23.8%減	
経常利益	4億91百万円 前期比 47.6%減	
当期純利益	3億40百万円 前期比 54.4%減	
受注高	221億68百万円 前期比 57.7%増 橋梁事業 178億89百万円 61.5%増 鉄構事業 42億79百万円 43.5%増	
受注残高	273億35百万円 前期比 29.3%増 橋梁事業 207億91百万円 28.2%増 鉄構事業 65億43百万円 32.6%増	

今後の見通し

「第6次中期経営計画」の最終年度に当たる2023年度は、経済活動の正常化が進み景気回復基調が期待されます。橋梁事業においては、引き続き国土強靱化に向けての予算が確保されており、2022年度と同水準の発注量が見込まれます。鉄構事業においても2023年度の需要は堅調に推移し、2024年以降には多数大型再開発案件の着工が見込まれています。しかしながら、一方で人手不足による労働力の確保の問題、物価上昇による賃上げ圧力の上昇・資材価格の高騰といった大きな課題を抱えており、先行き不透明感が漂っています。

このような状況ではありますが、「主要数値目標」の達成に向けて全社一丸となって取り組み、「安定した収益基盤の構築」「企業価値の向上」「魅力的な企業創り」を確実に実行してまいります。

「主要数値目標」

2022年度の決算は不本意な結果となりましたが、受注面での健闘から、相応の受注残高を保有しており、2023年度も受注が堅調に推移し、新たに重点目標として掲げた「安全意識・原価意識の徹底」が着実に実施されれば、「主要数値目標」の達成に近づくと考えております。

「安定した収益基盤の構築」

橋梁事業では、新設橋梁の受注確保が最重要課題であることに変わりはありませんが、保全事業対応の体制強化を積極的に推し進め、新たな収益基盤として構築を急ぎます。

鉄構事業では、「第6次中期経営計画」の開示前から取り組んできた社内体制の強化が、受注高の増加となって表れてきました。2023年度は独自技術・独自製品への

注力を強めてまいります。

新規事業では、推進部署の充実から、デバイス関連の売上高2億円が達成可能な目標となりました。

「企業価値の向上」

経営基盤の強化として最初に取り組んだ、老朽化した社内基幹システムの更新は、完了までまだ少し時間を要しますが、社員間での情報共有の改善が進みました。

地域活性化への取り組みとしては、和歌山県の地域振興への協賛や和歌山大学との人材育成に関する包括連携協定締結など地元との関係強化に努めました。今後も継続して関係強化を図ってまいります。

持続可能な社会への貢献は対応が遅れておりますが、脱炭素や多様性の推進など、社会の課題解決に向けての取り組みを進め、適切に情報開示できるようにいたします。

「魅力的な企業創り」

2022年度には「健康経営優良法人」の認定を取得いたしました。2023年度もワークライフバランスやダイバーシティなど多様な働き方の実現に向けての取り組みを進めてまいります。2023年度は重点目標に「将来に向けた人材の育成」を掲げており、これまで手薄であった社員教育を充実させる予定であります。

2023年度は新体制のもと、市場環境の変化に柔軟に対応し、スピード感を持って企業価値向上に向けた施策に取り組んでまいります。業績につきましては、売上高190億円、営業利益10億円、経常利益11億円、当期純利益7億700万円を予想しております。

現状は第6次中期経営計画の数値目標には届かない予想となっておりますが、数値目標達成に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

橋梁事業

主な売上工事

東北地方整備局・箱堤高架橋、中部地方整備局・西深瀬高架橋東、滋賀県・野洲川橋、関東地方整備局・小雀高架橋、和歌山県・新南田井ノ瀬橋

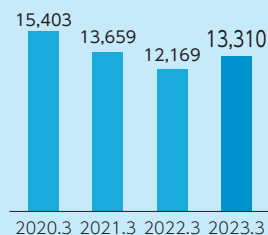
主な受注工事

東北地方整備局・中谷地地区橋梁、近畿地方整備局・高富川橋、大阪市・端建蔵橋、東日本高速道路(株)・沼田橋、関東地方整備局・上蛇高架橋その2・上郷高架橋その1

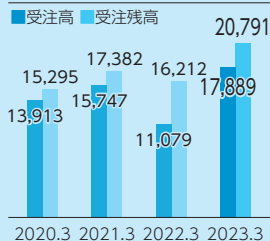


箱堤高架橋

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



鉄構事業

主な売上工事

大成建設(株)・虎ノ門二丁目地区、阪和興業(株)・アパホテル大阪難波

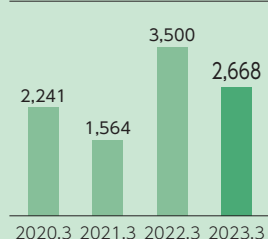
主な受注工事

大成建設(株)・岡山市新庁舎・銀座六丁目PJ・日本橋小網町計画、鹿島建設(株)・モノレール浜松町駅

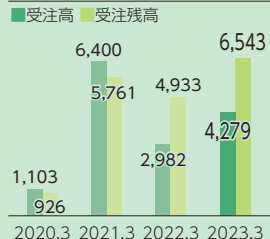


虎ノ門二丁目地区

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,560,000株

発行済株式の総数 2,237,586株

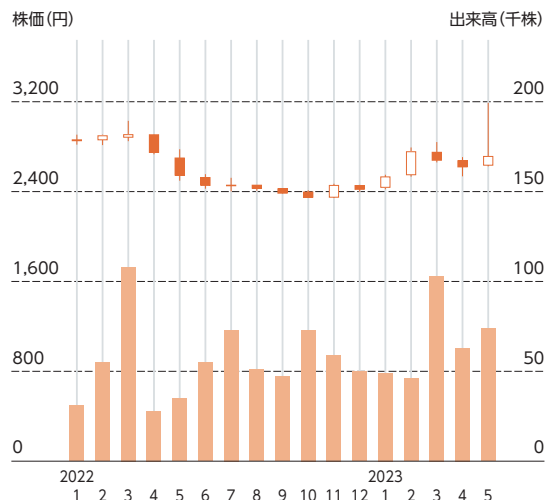
株主数 4,391名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
BLACK CLOVER LIMITED	117	5.81
日本生命保険相互会社	113	5.60
神吉利郎	100	4.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	97	4.82
株式会社奥村組	88	4.38
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	81	3.99
株式会社紀陽銀行	58	2.89
株式会社三井住友銀行	50	2.47
三井住友信託銀行株式会社	50	2.47
東海鋼材工業株式会社	48	2.41

(注) 1. 当社は、自己株式を211,341株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、当事業年度の末日における発行済株式の総数より自己株式(211,341株)を控除して計算して表示しております。

株価／出来高の推移



会社概要

(2023年3月31日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	1922年11月
設立	1932年3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	代表取締役社長 中村 達郎
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
営業所	仙台・群馬・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡・沖縄

役員

(2023年6月28日現在)

代表取締役社長	中村 達郎
常務取締役	小林 雄 紀
常務取締役	蔭 山 昌 弘
取締役執行役員	西 田 明
取締役執行役員	西 尾 和 彦
社外取締役	川 谷 充 郎
社外取締役	吉 永 一 夫
執行役員	伊 藤 裕 彦
執行役員	前 田 豊
執行役員	山 内 圭
執行役員	西 岡 智 秀
執行役員	平 田 寛
執行役員	宮 本 耕 治
常勤監査役	小 野 誠 大
社外監査役	山 中 俊 廣
社外監査役	山 本 和 人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	電子公告(https://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度について

当社では、株主の皆様への利益還元のひとつとして、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様へQUOカード2,000円分を贈呈する株主優待制度を導入しております。

参照URL:<https://www.takadakiko.com/ir/benefit.html>

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

